



全教石狩札幌 三二通信

2016年11月4日(金) No.9

全石狩札幌教職員組合

(略称・全教石狩札幌)

電話 080-5839-0507(組合携帯)

090-1300-5785(神保携帯)

Fax 011-385-1514(神保宅)

組合メールアドレス

spring_8ee737@yahoo.co.jp

さっぽろ子育て・教育市民フェスティバル

全教石狩札幌が教研集会と位置付けている10数団体による実行委員会主催の集会が10月10日に、「笑顔が輝く子どもと大人の未来」つながりを広げて一人ひとりが大切にされる子育て社会に、をテーマに行われました。

午前には「助けてといえる社会へ」というテーマで、ホームレス支援・生活困窮者支援全国ネットワークで活躍している牧師奥田知志さんの講演でした。

午後は、4人の話題提供者の報告の後四つの分散会に分かれて交流しました。学生の参加も多かったです。遊びの広場には今年も100人以上の地域の子どもが来て賑わいました。



第3回全教石狩札幌・札幌教職員の会合同学習会

10月29日に道退職のメンバー2名も参加して人事評価制度の実態報告・職場交流が行われました。前期の業績評価のシート記入について、自己評価は「できてきた、増えている」などの肯定的評価と取り組んできたことを書いています。後期の業績評価の目標・取り組み方法では前期と同じか少し文言を変えただけで提出した人が多いです。業績評価の期末面談では、春の期首面談と同じように、子どもの話や分掌・雑談的な話などが多かったです。若い先生の中にはかなり長い時間面談していた人もいたそうです。管理職の中にも「こんなのやらなくていい」と悩んでいる人もいます。

この制度のねらいの「活性化」も「士気向上」にもなっていないことが報告されました。「学校は教職員みんなでやっているもの、学年で同じものを書いて、みんなで話し合って反省して行く方が学校の教育力が高まる」「つながりを強めるため、評価シートを他の職員も見えるようにパソコ



ンに残している」「学校の教育力を高めるために、学校運営に対する要望・意見を活用できる」「管理職になぜ

そのように評価したのかといわれると明確に説明できないと思う、できないことをするのだから、みんなに平等に、を訴えていこう」など、今後の闘いの方向も見えてきました。

その後、職場で子どもについて話し合う時間が少なくなっている超勤多忙化問題・チャレンジテスト問題などの職場交流がありました。

今後の日程

- 11月4日(金) 第25回書記局会議
- 5日~6日 合同教研
- 10日(木) 貸金交渉
- 11日(金) 第26回書記局会議
- 17日(木) 貸金交渉
- 18日(金) 第27回書記局会議
- 19日(土) 第2回合同支部会議
・実践交流会・交渉報告
- 25日(金) 第28回書記局会議
- 12月2日(金) 29回書記局会議
- 9日(金) 30回書記局会議
- 10~11日 政令都市交流会
- 10日(土) 道教組代表者会議
- 11日(日) こどもセンター総会
- 17日(土) 本部執行委員会

組織発展・大会準備のための本部執行委員会

12月17日(土) 1月21日(土) に行うことになりました。12月2日の書記局会議で日程などを決めて、冬休み中に諸々の準備を行っていきたくと思っています。